



東中学校だより(7) 令和4年9月22日

菟あかくそびえて建てり

校歌の一節より

佐久市立東中学校 〒385-0007 佐久市新子田 1396-1 Tel.67-2392 文責:召田幸司(教頭)



第64回白樺祭いよいよ来週末!

9/30(金)、10/1(土)に迫った第64回白樺祭に向けて準備が進んでいます。当日は生徒会テーマ「咲～一人一人の色を开花させよう～」が大輪となって私たちの目の前に咲き誇ることでしょう。



〈全校制作に取り組む全校生徒〉



〈外部講師にご指導いただく3年生〉



〈クラスの魂を受け継ぐリレー対決〉



〈クラスで取り組むフリーステージ〉



〈優秀賞ポスター〉
(三年三組 細谷さん)



〈コロナ対策しながらの1学年合唱〉



〈手話で表現 全校合唱「Believe」〉



〈学級閉鎖対応を考える生徒会と校長先生〉



〈ライバルは自分たち自身か大縄跳び〉

〈日程の概略〉 下線部のプログラムが公開対象です。生徒昇降口から体育館にお入りください。発表生徒の保護者(1名)のみではありますが、ご来校いただき、生徒たちの咲き誇る姿を当日はご覧ください。

9月30日(金)		10月1日(土)	
(1) <u>開祭式</u>	8:40~9:00	(6) 生徒会企画	8:40~
(2) <u>意見文発表</u>	9:00~9:40	(7) 展示見学②	9:40~
(3) 展示見学①	9:50~	(8) <u>ステージ発表 吹奏楽部</u>	<u>10:30~11:30</u>
(4) <u>フリーステージ</u>	<u>10:40~11:50</u>	昼食	11:30~
昼食	11:50~	(9) 音楽祭	12:20~14:00
(5) <u>体育祭(※)</u>	<u>12:40~14:50</u>	<u>2学年</u>	<u>12:20~12:49</u>
学活	14:55~	<u>1学年</u>	<u>13:03~13:19</u>
一般下校	15:45	<u>3学年</u>	<u>13:33~14:00</u>
		(10) <u>閉祭式</u>	<u>15:00~15:30</u>
		一般下校	16:00

※校庭での体育祭の場合は制限を設けません。(雨天の場合は体育館のため公開いたしません)

<ピンチをチャンスに>

コロナを想定した学校生活が続いています。そんな中、「もしも白樺祭中に学級閉鎖のクラスが出てしまったらどうしたらよいか?」といった問題が上がってきました。この問題をクラスで話し合い、クラスの意向を生徒会本部会がとりまとめて一つの答えを出し、学校長をはじめとする先生と協議し、生徒会が方向性を出しました。

コロナという「ピンチ」に学校としての意思決定プロセスを取り入れて解決した東中生徒会に光を見ました。「ピンチ」を「チャンス」に変えた令和4年度東中生徒会があったように思います。

先日、クラスごと「学級閉鎖になったら白樺祭をどうしたらよいか」を話し合ってもらい、ありがとうございました。

全校の皆さんの意見をもとに本部会で再度検討し、その後、校長先生、教頭先生と協議した上で決定しましたので、皆さんに報告します。

今年は「予定どおり実施する」という方向で進めていきたいと思えます。しかし、学級閉鎖となってしまったクラスは何も発表できずに終わってしまうことやコロナに感染してしまった生徒が責任を感じてしまうかもしれないという問題点があるため、多くの生徒が達成感を味わえるよう音楽祭と体育祭については少し変更があります。

まず音楽祭についてですが、学級閉鎖になってしまったクラスについては、そのクラスと学年合唱を全校の前で発表する場を後日、設けたいと思えます。

体育祭については、学級閉鎖になったクラスと同じ学年がすべてそろったところでその学年のみで後日開催したいと思えます。

当日、どのクラスも学級閉鎖にならないことが一番良いことですが、もしもの場合を考え、先生方のみではなく、全校が携わってこのような結論を出せたことはとても素晴らしいことだと思います。

東中の生徒会では今後もこういったことを大切にしていきます。今年の白樺祭も全校で創り上げていけるよう頑張ります。



<学級閉鎖の対応を語る生徒会長>

<令和4年度 全国学力・学習状況調査(3年生対象)の結果と今後のアクション>

◇4月に中学3年生を対象に全国で行われました全国学力・学習状況調査の結果から本校としてはどのような方向で取り組んでいくか下記に示したいと思います。

【結果の概要】

国語…全体としては全国とほぼ同じ。漢字表記の正解率や表現技法の理解度が県、全国の値を大きく上回った。一方で、論の展開、場面の展開に注意して聞く問題は、県、全国と比べやや下回った。また行書について読みやすさ、書き方の説明の問題についてはやや課題が残った。

数学…全体としては全国をやや上回った。素因数分解、連立方程式、合同条件の理解など基本知識については定着がみられた。一方で、文字式についてどのような計算が行われているのか、具体的な値を代入して表す問題、思考判断表現に関する問題については課題が残った。

理科…全体としては全国をやや下回った。短答式での解答率に課題はあったものの、記述式は概ね平均。成果としては、アリの行列の作り方について、視覚情報を基に分析・解釈できており、記述する問題は、県・全国の値を上回った。一方で、天気図の基本的な見方や読み取り、化学変化に関する知識技能、力の分野では課題が残った。

【今後のアクション】

- ・1時間の授業の目標(何を学ぶのか、何ができるようになるのか等)をより明確にして授業を展開できるようにする。(全教科)
- ・聞き取り、書き、発表する活動をさらに取り入れ、聞きながら論の展開を理解できるようにする。(国語)
- ・「なぜ」という問いを大切に対話的な指導を重ね、基本的な知識技能は、継続的に小テストを実施し定着を図るようにする。(数学)
- ・実験の考察を丁寧に行うようにし、基本事項の定着が図られるようにする。(理科)